

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	英語A [English A]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	750003	授業形態	演習	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	ブライアン・スモール			学位授与の方針 との関連	DP1(2),3(3)		
授業概要	英会話Iで習った英語を土台にして、表現できる範囲を広くして行くことである。授業の目的は広く使える言葉を創造的に使えるようになることである。日常の状況を英語で表現できるようになる。外国語を段階的に教える方法を考えることである。						
関連する科目	「英語コミュニケーション」は本科目の履修前に必ず受講すること。 一步一步、段階的に英語を習うので、発見型の習い方はどんな科目・分野にも通用する。						
授業の進め方と方法	1. ライブ シチュエーション: 実際の物と動作で言葉・センテンスの意味を見て、経験する。 2. ペアワーク: 小グループで実物を使って、動作しながら言葉を使う。 3. 線画: ホワイトボードで線画を見て、経験した言葉・センテンスを言う、書く。 3. ワークシート: A4紙のシチュエーションの線画に合わせて、文を書く。 4. 回収: ワークシートの学籍番号と氏名を見て名簿を記入する。 b. 先生がワークシートを訂正して返す。 次回の授業の始めに学生が教室に入ったら、ワークシートを参考(復習)にする。						
授業計画	<p>授業の人数とワークシートの結果を見て変更する場合がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>English Through Pictures(絵で見る英語1 EP1) pages 30-34 <ol style="list-style-type: none"> <li>Questions, Review of pages 1-29</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 35-36 <ol style="list-style-type: none"> <li>will be, from, the numbers, days, months</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 36-37 <ol style="list-style-type: none"> <li>with, from, go, will be,</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 38-39 <ol style="list-style-type: none"> <li>together, but, not, again, were</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 40-41 <ol style="list-style-type: none"> <li>one, the other, open, shut, see, does not see</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 42-43 <ol style="list-style-type: none"> <li>have, has, say, is saying, said, not</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 42-43 <ol style="list-style-type: none"> <li>between, have, had, shelf</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 44-45 <ol style="list-style-type: none"> <li>under, over, between, shelves</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 44-45 <ol style="list-style-type: none"> <li>before, parts of,</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 46-47 <ol style="list-style-type: none"> <li>What do you see?</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 48-51 <ol style="list-style-type: none"> <li>which, but, see, not</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 48-51 <ol style="list-style-type: none"> <li>which(question), see</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 48-51 <ol style="list-style-type: none"> <li>which(question) part, town, thing, country</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 50-51 <ol style="list-style-type: none"> <li>has, on, chest</li> </ol> </li> <li>EP1 pages 52-57 review questions <ol style="list-style-type: none"> <li>Review: <ul style="list-style-type: none"> <li>in, at, under, on, over, between, see</li> <li>saying, see, has, one, the other, of</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>「英語コミュニケーション」よりも多くの英単語と文章型を使えるようになる。[理解を応用し活動する能力]</li> <li>より深く言語と学びを考えるようになる。[国際性の涵養、多様な言語を活用]</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>【予習】「絵で見る英語」を熟読し、授業で経験した内容を把握する」  「把握した内容から、次回のステップを推測する。ギリギリだけでまだ言えない場面はどんな場面か考える」  【復習】「把握したセンテンスをどれぐらいの場面に応用できるか考える。」  「教科書の展開したかた、と授業の展開が違う場合はどこが違うか、比較して一步一步の学習プロセスを考える」  【一般教養生涯学習】「授業で紹介したオンラインでフリーなトランスクリプト(リーディング)とビデオ(リスニング)を参照にする。」「授業で紹介した作家のエッセーや本などを読んで考える」</p>						
課題に対するフィードバック	ワークシートの線画に書く文の訂正。独自の線画と文章の訂正。ワークシートの感想・コメント欄の返事	評価方法	授業とワークシートの努力20点、定期テスト、80点				
テキスト	「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」 I・A・リチャーズ(共著)、クリスティン・ギブソン(共著)						
参考書	「First Steps in Reading English 絵で読む英語」 - I・A・リチャーズ(著者)、クリスティン・ギブソン(著者)   - 「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」 - 「絵で見る英語 Book 3 改訂新版 English Through Pictures Book 3」 - I・A・リチャーズ(共著)、クリスティン・ギブソン(共著)   - 出版社: IBCパブリッシング   - 「ベーシック先生の基本動詞でこれだけ言える英語術」 著者: A Group of Basic English Teachers 出版社: 松柏社   - 「850語で考える英語 English Made Simple」 ベーシック イングリッシュ 著者: 後藤 宏、出版社: 松柏社						
備考	ワークシートに記入する学籍番号と氏名が出席管理に使用する。   - 教科書を授業に持って来る。   - 授業が始まる前に前回のワークシートを取って、参考にする。   - 授業に入る前から携帯電話の電源を切る。   - 携帯をバッグに入れておく。   - 毎回、ワークシートの絵に合った英語文章を書く。   - ワークシートに学籍番号と名前を記入   - 学籍順にワークシートを集めて提出する。   - ワークシート提出が出席の証拠   - 最初は英語が簡単だがしっかり授業を開かないと、その簡単な英語すら言えなくなる。   - 毎授業ごとに新しい単語が加わる。   - よって、一度でも欠席すると次回の講義は理解が困難になる。   - しっかり授業を15回受けていれば理解できる。   - 再試は行かない   - 暗記ではなく、考えて書く試験であるので短期間の独学で習得は無理である。   - 再受講し、1から習い直し、外国が習える自信が身についた方が本人の為である。   GDM 教授法: <a href="http://www.gdm-japan.net/">http://www.gdm-japan.net/</a>						